

項目	計画策定時最新値 (H30)	現時点の最新値 (R2)	変動理由・評価等	R3 ～ R12	中間目標 (R7)	目標 (R12)
ごみ(一般廃棄物)の排出量	391 千 t	380 千 t	総量では減少傾向であるが、家庭系ごみ(1人1日当たり)は増加している。 家庭に対する取組みを強化していく必要がある。	計画に基づく施策の展開	350千 t	326千 t
事業系ごみ(一般廃棄物)の排出量	110 千 t	100 千 t	事業所の環境意識は着実に高まっており、業界団体とも連携しながら、助言や取組みへの支援を行っていく必要がある。		94千 t	87千 t
1人1日当たりの家庭系ごみ(一般廃棄物)の排出量	528 g	547 g	資源ごみの分別徹底や店頭・集団回収の利用促進と、食品ロスやプラスチック廃棄物の削減のための一人ひとりのライフスタイル変革に向けて、工夫した手法等により啓発を強化していく必要がある。		440 g	408 g
1人1日当たりのごみ(一般廃棄物)の排出量	915 g	901 g			850 g	810 g
ごみ(一般廃棄物)のリサイクル率	18.2 %	18.7 %	平成30年12月に稼働開始した山形広域環境事務組合ごみ焼却施設(上山市川口)の焼却残さ(溶融スラグ)のリサイクル開始等により上昇。 さらに、資源の集団回収・店頭回収の増加に取り組んでいく必要がある。		23 %	28 %
ごみ(一般廃棄物)の最終処分量	35千 t	34千 t	家庭・事業所双方への3Rの啓発・支援を一層強化していく必要がある。		33千 t	31千 t
産業廃棄物の排出量	3,805千 t	3,579千 t	汚泥の減少によるもの。 毎年度の経済活動の状況により排出量や種類が大きく変動する。引き続き、事業所の排出抑制の取組みを支援していく。		3,497千 t	3,492千 t

項目	計画策定時最新値 (H30)	現時点の最新値 (R2)	変動理由・評価等	R3 ～ R12	中間目標 (R7)	目標 (R12)
産業廃棄物のリサイクル率	59.9 %	59.6 %	水分量が多い性状の「汚泥」が増加したことによるもの。 事業所の環境意識は着実に高まっており、再生資源やリサイクル製品の販路を拡大しながら、排出事業者や廃棄物処理業者による再資源化の取組みを支援していく。	計画に基づく施策の展開	60 %	60 %
産業廃棄物の最終処分量	136千 t	111千 t	埋立が多い「鉱さい」等の排出量減少によるもの。 排出抑制やリサイクルの取組みの支援により削減を図っていく。		125千 t	124千 t
家庭系食品ロス発生量 (※試算値)	(H29) 22千 t	(R1) 24千 t	H30年度の25千トンから1千トン減少。買物から保存、調理、食事まで、一人ひとりのライフスタイル変革に向けて、工夫した手法等により啓発を強化していく必要がある。		20千 t	18千 t
海岸清潔度ランクが 2011 (H23) 年度春期より1 ランク以上アップした区 域数	(R2春) 19 区域 / 39 区域	(R3春) 13 区域 / 39 区域	コロナ禍による海岸清掃活動の中止等によるもの。 万全のコロナ対策をとりながら、清掃活動を行っていく。		—	39区域 / 39区域









